

令和3年度（第2回）久留米市食料・農業・農村政策審議会 議事録

日 時：令和3年11月25日（木） 10時00分～11時30分

場 所：職員会館メルクス3階 大会議室

出席者： 福田委員、岩屋委員、宮田委員、作田委員、野村委員、増崎委員、
中村委員、田中委員、永松委員、溝上委員、稲吉委員、市川委員、
森永委員、高良委員、吉永委員、矢次委員、豊福委員、半田委員
以上、18名（欠席者：林委員 1名）

事務局： 農政部 山口部長、古賀次長、春木流通担当次長
総務 古賀主査
農政課 井上課長、田川課長補佐、松岡
農業の魅力促進課 林田課長、古賀主幹、生産流通課 樋之口課長、
農村森林整備課 松尾課長、田代主幹、植田主幹、農業委員会 岡野補佐
田主丸総合支所産業振興課 高尾課長、北野総合支所産業振興課 鳥取課長、
城島総合支所産業振興課 大坪課長 三潞総合支所産業振興課 田中課長

傍聴者：なし

次 第

1. 会長あいさつ

2. 報告事項

(1) 2020農林業センサス

(2) 第3期 食料・農業・農村基本計画に基づく主な取組

①担い手の現状と支援策

②災害に伴う生産現場への支援

③減災・防災対策

④農業都市・久留米の魅力発信

(3) 情報提供

3. その他

1. 会長あいさつ

会長	挨拶
----	----

2. 報告事項

(1) 2020 農林業センサス

事務局	【資料1 2020（令和2）年農林業センサスの説明】
A委員	<p>販売金額 5 千万円以上の経営体や経営耕地面積 5 ha 以上の経営体が増えるなど、農業が向上しているように見えるが、実際農家の所得は、減少傾向にある。最近では、野菜価格の低迷や重油の値上がりで経営は厳しくなっている。農家の経営を見るときは、販売金額ではなく、農家所得を見たほうが、農業経営の傾向がつかめると思う。</p> <p>また、皆様のおかげで、道の駅ひんやりスイーツ 2021 では、西日本 2 位になることが出来た。大変感謝している。来年もお願いしたい。</p>

(2) 第3期 食料・農業・農村基本計画に基づく主な取組

①担い手の現状と支援策

事務局	【資料2 担い手の現状と支援策の説明】
B委員	<p>日本政策金融公庫は、お金をお貸しするだけではなく、新規就農者の相談会や、認定農業者の法人化、経営継承する際のアドバイスなども行っている。市の担い手育成への取組と連携させていただいたら、より効果的になると思うので宜しくお願いしたい。</p>
C委員	<p>農産物価格が乱高下している中、生産だけではなく、6 次産業化に取り組めれば、より安定的な農業経営が図れると思う。6 次産業化に取り組んでいる農業者のうちどのくらいが利益につなげているのか。</p>
事務局	<p>市では、6 次産業化への補助として、新商品開発で上限 30 万円を補助している。新商品開発以外にも商品改良や販路拡大などのメニューを揃えているので、取り組まれる際にはご相談を。</p> <p>また、これまでに 6 次産業化への支援として、新商品開発で 30 数件ある。新商品開発のうち約半数の農業者は売り上げを伸ばされている。</p>

②災害に伴う生産現場への支援

事務局	【資料3 災害に伴う生産現場への支援の説明】
青年部長	<p>今回も、大雨災害により若手農業者へ多大なる支援をいただき、大変感謝している。今後も大雨災害は想定されるが、引き続き支援をお願いしたい。</p>
A委員	<p>収入保険について、補助率が 1/10 となっているが、県の補助も含まれているのか</p>
事務局	<p>県は、別途補助している。</p>

A委員	収入保険について、災害が起きてからの支援ではなく、災害が起きる前の対策を確保することで安定した経営ができると思うので、今後も継続して収入保険への支援をお願いしたい。
D委員	①収入保険について、法人の決算期が5月～6月だが、保険期間はどうか。 ②大豆の収穫皆無圃場の補助だが、どのようにして収穫皆無と認定するか
事務局	①法人の決算期ごとに保険期間が決まってくる。現在、継続して支援ができるように検討しているところである。 ②農業共済の被害調査情報をもとに認定している。
D委員	②農業共済に被害届を出していないと対象にならないということか
事務局	②その通りである。

③減災防災対策

事務局	【資料4 防災重点農業用ため池対策事業についての説明】 【資料5 田んぼダムについての説明】
E委員	田んぼダムで今回の豪雨災害が防げていたかなどの検証はされているか。
事務局	まだ検証まで至っていない。今後必要になると思うが、まずは、事業化に向けて取り組みを進めていきたい。
E委員	面積をもとに流量計算されていると思うが、データ検証が無いと、田んぼダムに協力してくださいと言っても説得力がないと思う。データを示して説得力を上げてもらいたい。

④農業都市・久留米の魅力発信

事務局	【資料6 「農業都市・久留米」の魅力発信の取組の説明】
F委員	動画による情報発信の中で、久留米の農産物を使ったレシピを紹介されるとのことだが、昨日、市場関係者との会合があり、リーフレタスの生食以外での食べ方をPRしてくれないかと要望があった。例えばしゃぶしゃぶや鍋に入れると美味しいなど、ぜひ検討をお願いしたい。
G委員	道の駅くるめに大型屋根を整備し、事業展開の幅が広がった。現在もくるめ緑花センターと連携しながらグリーンマルシェ春と秋のイベントを実施しているが、賑わいづくり等のイベント等もさらに充実すると思う。また、6次化の商品の試行販売等にも活用してほしい。 道の駅くるめには、7名の野菜ソムリエの資格を取得しているスタッフがいるので、動画の展開以外にも、実演の展開など一緒になって企画を考えていただければと思う。
E委員	今年も、これまでの実施主体を引き継ぎ、つつじ祭りを実施したが、会

	<p>場が変更となり PR 不足もあって非常に大変だった。来年は道の駅くるめも活用しながら、PR に力を入れていきたいと思うので、今まで以上に協力をお願いしたい。</p> <p>また、つつじの生産者が水害で物が出来ていない。高齢化も進んでおり、つつじを生産される方も急激に減っている。若手生産者の育成にも努めてもらいたい。</p>
H委員	<p>先日、道の駅くるめに行ったが、地方発送カウンターが非常に充実していた。買い物をして地方や知り合いに送ることが多いが、今まで気づかなかった。私自身、観光客を案内することが多いが、お客様が自ら農産物等を持って帰るのは厳しいので、このように充実した整備をされると利便性が高くなる。充実しているところはもっと宣伝したほうがいいと思う。</p>
G委員	<p>地方発送カウンター（宅配コーナー）を整備したのは、令和元年8月で2年以上経っている。委員の意見を踏まえ、改めて PR が不足していると感じた。今後はしっかりとやっていきたい。</p>
I委員	<p>観光農園なので、旅行会社に観光バスの誘致を近隣の施設と組み合わせて提案しているが、「道の駅くるめ」を提案すると旅行会社から「うきはの道の駅」等、他の道の駅を紹介されることが多い。その理由として、「道の駅くるめ」は、午後になると品薄になるからだという。道の駅は午後に組み込むことが多いため、午後でも品薄にならないよう準備すると、ツアーに組み込むことができ、集客も増えると思う。</p>
J委員	<p>フラワーエール事業について、医療機関の者としてピリピリとした雰囲気の中、元気をいただき大変感謝している。職員からは、こんなお花はどこで買うことができるのかなど、地産地消の取組としてもよかったと思う。同時に、医療機関の殆どが給食を委託しており、久留米市は、医療都市でもあることから、農産物も工夫して何かやれないかなと思う。</p> <p>また、コロナ禍の中だが、集まって食の祭典などできないかという動きも出てきている。農政部にも、久留米産農産物を使って PR の一端を担ってもらえたら、さらに地産地消の意識も高まってくると思う。</p>

3. その他

事務局	「人権尊重週間、市民のつどい」の紹介